

**2013年APEC首脳宣言**  
**多角的貿易体制への支持及び第9回WTO閣僚会議(MC9)に関する独立文書**  
**(骨子)**

- 多角的貿易体制の強化及びMC9の成功に向けたコミットメントを再確認。
- 経済成長、雇用創出及び持続的開発の源泉としての強力な多角的貿易体制の重要性を認識。

**【保護主義抑止】**

- 貿易を弱め、世界経済の回復を減速させる保護主義措置への対抗を約束(※)。  
(※)①スタンドスティル(新たな保護主義措置の不導入)のコミットメントの2016年末までの延長、②ロールバック(既存の保護主義措置の是正)のコミットメントの再確認、③世界経済の回復及び国際貿易の拡大を阻害する措置の最大限の自制、の3点。
- WTO等の国際機関を通じた保護主義抑止の重要性を強調。

**【ドーハ・ラウンド交渉／第9回WTO閣僚会議(MC9)】**

- ドーハ・ラウンド交渉の膠着状態を認識。現在、WTOの交渉機能を軌道に戻せるかどうかの瀬戸際にあり、我々が採る次のステップが、多角的貿易体制及びWTOの役割にとり重要となる。
- 今後のドーハ・ラウンド交渉の進展及び更なる多角的貿易自由化への踏み石となるMC9の成功に向けた切迫感を認識。MC9以降は、ドーハ・ラウンド交渉を妥結すべく、MC9の成果を足場に残りの交渉課題に継続して取り組むことへのコミットメントを再確認。
- MC9の成果には、①貿易円滑化、②農業の一部要素及び③後発開発途上国(LDC)の関心事項を含む開発が含まれることを想定し、MC9の開始前にこれらの交渉をまとめるべく一層努力する。
- 全てのWTO加盟国、特に主要国に対し、現存するギャップを埋め、MC9において前向きでバランスのとれた成果を実現すべく、政治的意思及び必要な柔軟性を示すことを強く奨励。

**【WTO情報技術協定(ITA)】**

- ITA品目拡大交渉について、経済的に意味のある成果を伴って、MC9までに迅速に交渉を妥結することを奨励。また、ITAへの参加国の拡大を図る。

**【環境物品】**

- 2015年末までに環境物品の関税を削減するというAPECのコミットメントを基に、WTOの場で機会を探求することにコミットする。

**【貿易のための援助】**

- 途上国が多角的貿易体制に組み込まれ、国際貿易から公平な利益を享受することの重要性を再確認。貿易のための援助(AFT)の有効性確保の方策を探求し続ける。(了)